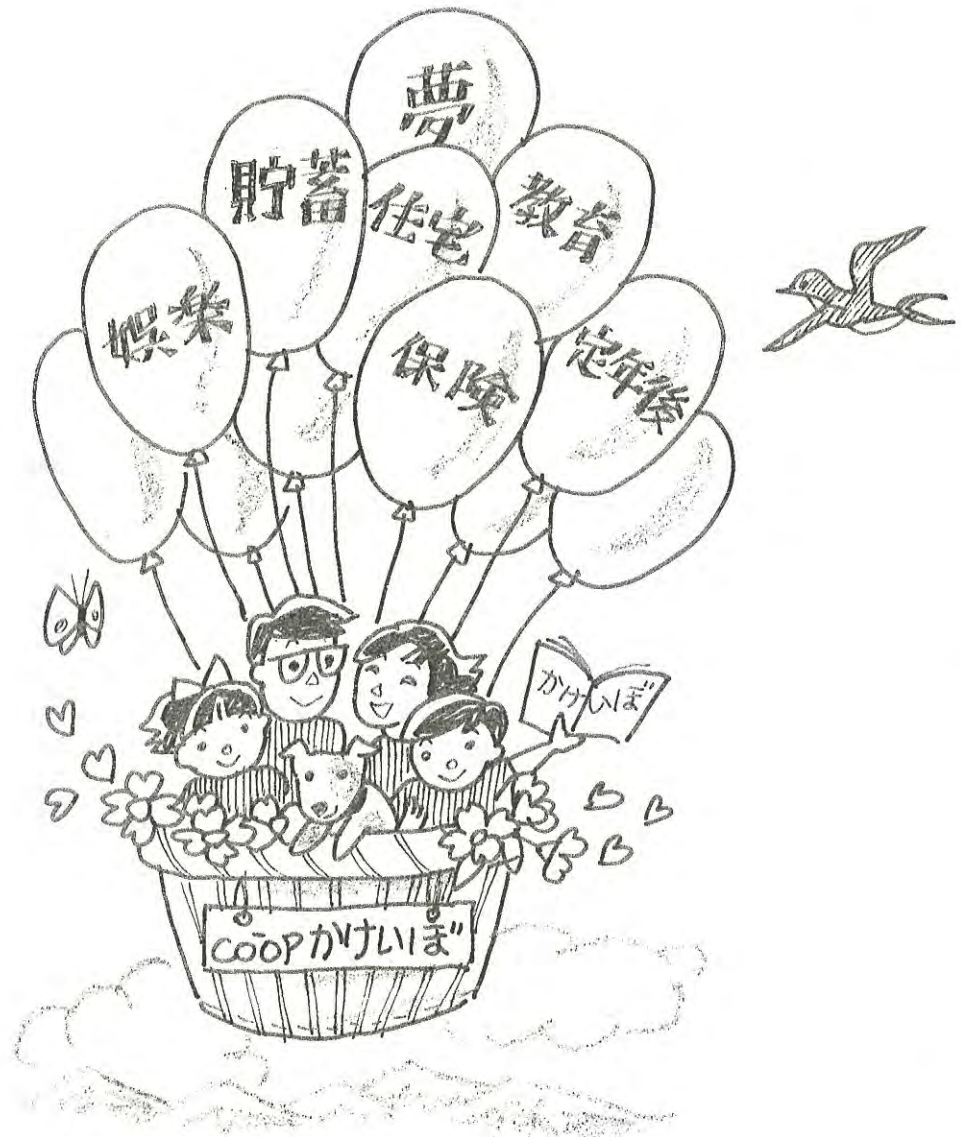


# 2010年 家計簿のまとめ



家計簿・くらし調査研究会

COOP  
コープかながわ

## 2010 年家計簿のまとめ

“2010 年家計簿のまとめ”が出来ました。2010 年は前年と比べて総平均で収入が増えました。昨年からの景気回復策（子ども手当、高速道路無料化、エコポイント、エコカー減税など）のためか「その他の住居費」「自動車関係費」は増えました。しかし買い控えの傾向は続き、収入に対する消費支出の比率は前年より2%減っています。“2010 年家計簿のまとめ”はリーマンショック前の2005年との比較もしてみました。

### 《家計簿提出活動の意義・目的》

- ◆ 自分のくらしを見つめる
- ◆ 生協の事業に生かす
- ◆ 社会的にデータを役立てる

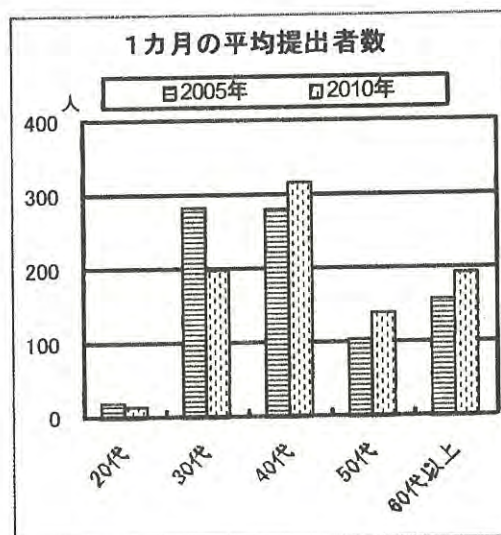
\*2010年6月から「家計.こ〜ぷ」による提出が始まりました。2010年には180名のモニターさんが登録をしました。

### ◇コープの家計簿集計では・・・

1. 「総平均」：合計を提出者数で割った数値
2. 「記入者平均」：合計を記入者数で割った数値
3. 「1ヶ月あたりの平均」：年間の合計を12ヶ月で割った数値
4. 「収入」：非消費支出の税金・社会保険料を引く前の数値

### ◇家計簿提出者数

提出者数は全体として20名増え、1ヶ月の平均提出者は864名でした。世代の構成は前年とあまり変わらず、30代(23%)と40代(37%)で60%を占めています。60代以上も22%で多い提出となっています。2005年と比較をすると、50代・60代以上が世帯構成比で2010年が約8%多くなっています。5年経ち、団塊の世代が50代・60代に移行したのでしょうか。



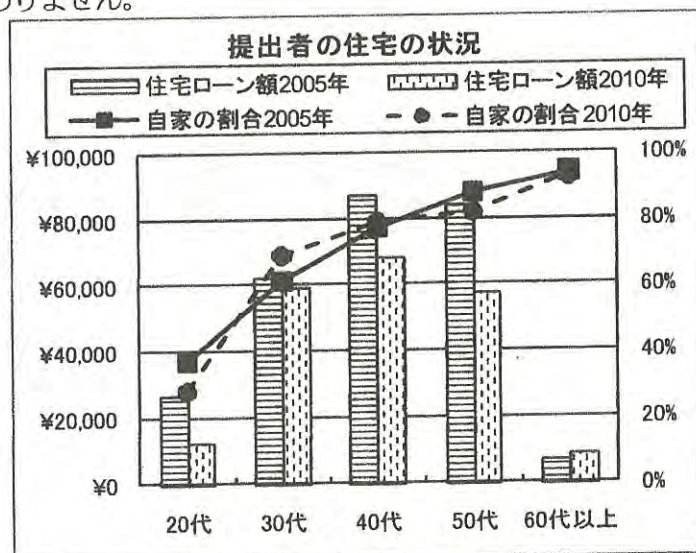
### ◇提出者の状況

世帯主の平均年齢は前年と変わりません。平均家族は前年より0.2人増えて、子どもの数(特に中・高校生)が増えています。そのためか前年より教育費も増えています。勤労世帯が75%で、割合は前年・2005年とも変わりません。

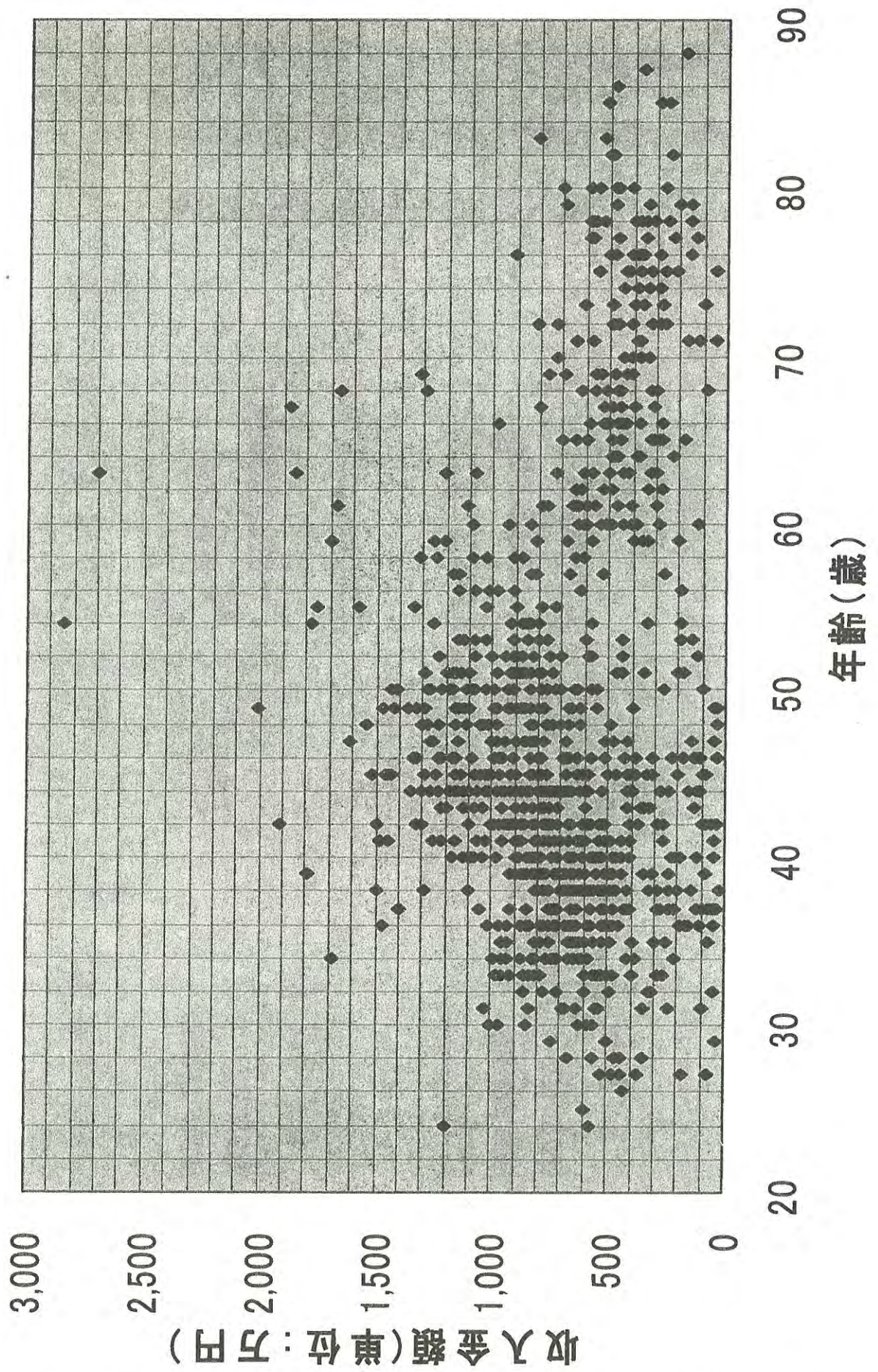
### ◇住宅状況

自家の比率は80%と高く、50代までに82%が自家です。2005年では自家の比率は77%で、2010年のほうが3%多くなっています。

住宅ローンは2005年、2010年とも30代・40代・50代に多く、家計の重い負担になっているようです。



# 2010年度年齢別収入合計



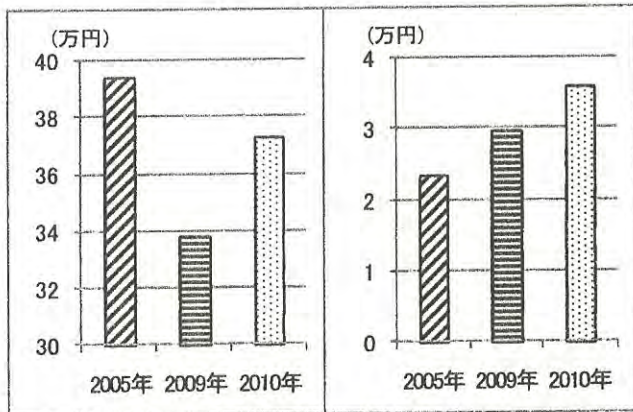
## 《収入》

収入計（総平均）では前年比108%で、給料と賞与は夫・妻とも増えています。が、しかし、年金は減っています。在職老齢年金支給停止基準の改定などによる影響と思われます。リーマンショック前の2005年との収入計を比較すると2010年が98%で、少なくなっています。が、妻の収入は給料・賞与・パート収入とも2005年・2009年・2010年と上がっていて、働く妻が増えたようです。

### 2005年・2009年・2010年の収入の比較

(給料)

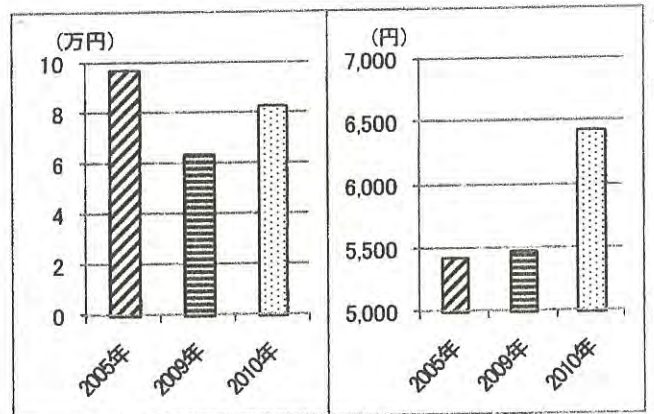
夫 妻



\* 夫・妻とも昨年より増えて、リーマンショック後の持ち直しでしょうか？しかし、妻の給料が2005年から徐々に増えているのは夫の給料が2005年より減った分を妻が補っているのではないのでしょうか？

(賞与)

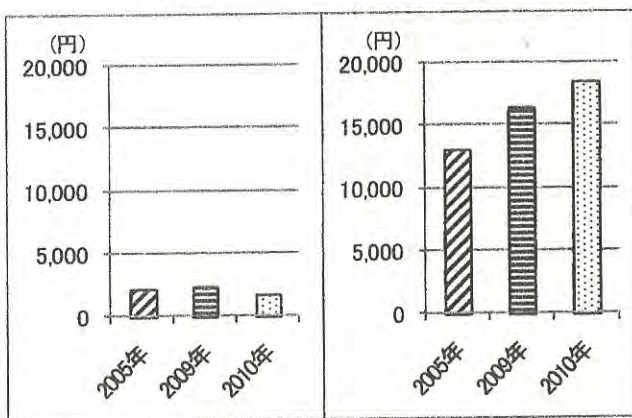
夫 妻



\* 昨年より夫・妻とも増えています。特に妻は約3倍になり、ボーナスをもらう人が増えたのでしょうか。

(パート収入)

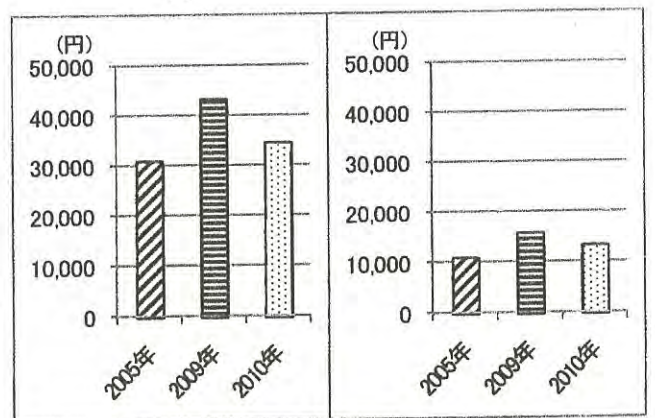
夫 妻



\* 夫の収入が昨年より減っているのは、収入額が103万円（非課税限度額）以上の人が増え、パートではなくなったのではないのでしょうか？妻は2005年から増えています。

(年金)

夫 妻



\* 夫・妻とも2009年より減っています。働いて収入を得る人が増え、年金を受け取る人が少なくなっているようです。

## 《支出》

### ◇非消費支出

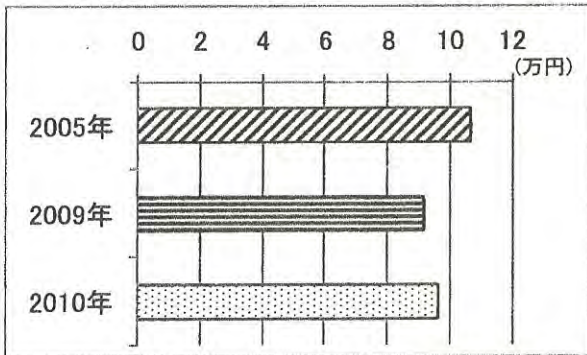
2010年の非消費支出は総平均で2009年より9%増えています。「社会保険計」が前年比114%で、特に夫の「厚生年金」は前年比119%でした。収入が増えたため「厚生年金」も増えています。「私的保険計」もまた前年比111%と増えました。60代以上の世帯で学生の子の「国民年金」を払っている世帯も多く、家計の大きな負担になっているようです。

### ◇消費支出

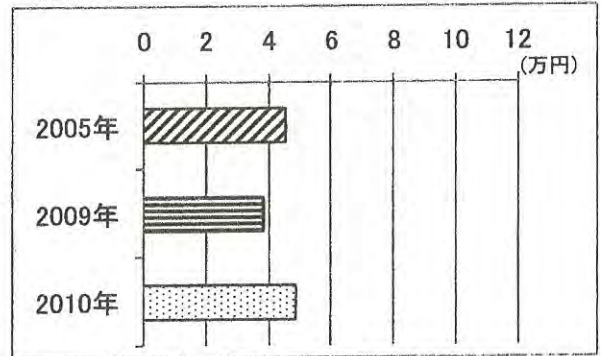
前年より収入が増えたためか消費支出も増えました。総平均で前年比105%でした。特に「教育費」は128%、「自動車関係費」は115%と目立って増えています。しかし、「交際費」は減っています。特に60代以上の世帯が減っていて、年金の減少が影響をしているのではないのでしょうか？

## 2005年・2009年・2010年の比較

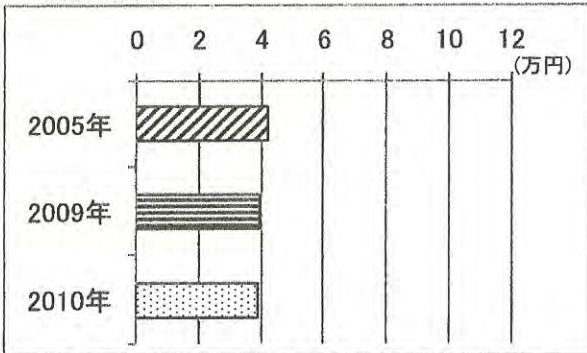
住居費



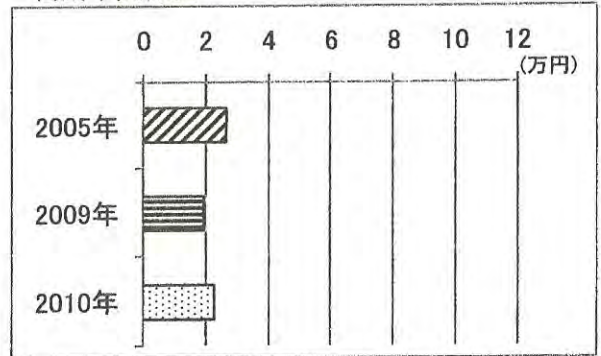
教育費



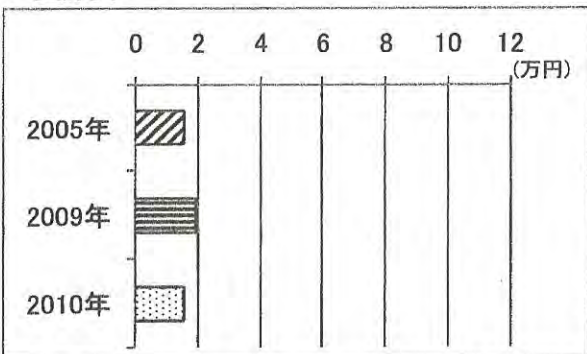
職業主婦費



自動車関係費



交際費






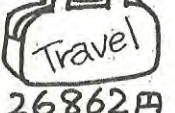

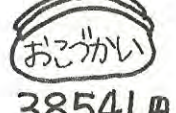
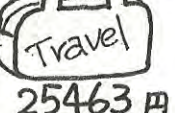
### \* [ゆきげ (お香典) アンケート結果]

(2010年11月に実施)

2010年に家計から支出した「交際費」のうち、お香典の金額を調べてみました。一番多いのは「知人・友人・その家族」への香典で、金額は5,000円が全体の41%で、10,000円も38%でした。二番目に多いのは「親戚」への香典で、金額は10,000円が最も多く、全体の43%でした。

## 2005年・2010年の消費支出ベスト5

(総平均)

	1位	2位	3位	4位	5位
2005年	住居費  106,571円 (26%)	食費  66,954円 (16%)	教育費  45,726円 (11%)	職業主婦費  おこづかい 42,767円 (10%)	教養娯楽費  Travel 26,862円 (7%)
2010年	住居費  95,963円 (25%)	食費  66,057円 (17%)	教育費  48,576円 (12%)	職業主婦費  おこづかい 38,541円 (10%)	教養娯楽費  Travel 25,463円 (7%)

\*2005年・2010年を比べても消費支出のベスト5は順序も割合もあまり変わりませんでした。この数値から5年経った生活様式があまり変わっていないことが見えてきます。ベスト5の割合は同じでも、総消費支出額では2005年が409,192円で2010年は390,660円と約9,000円減少しています。景気の回復はもう少しですね。

### 《「家計簿のまとめ」を家計管理にいかしましょう！》

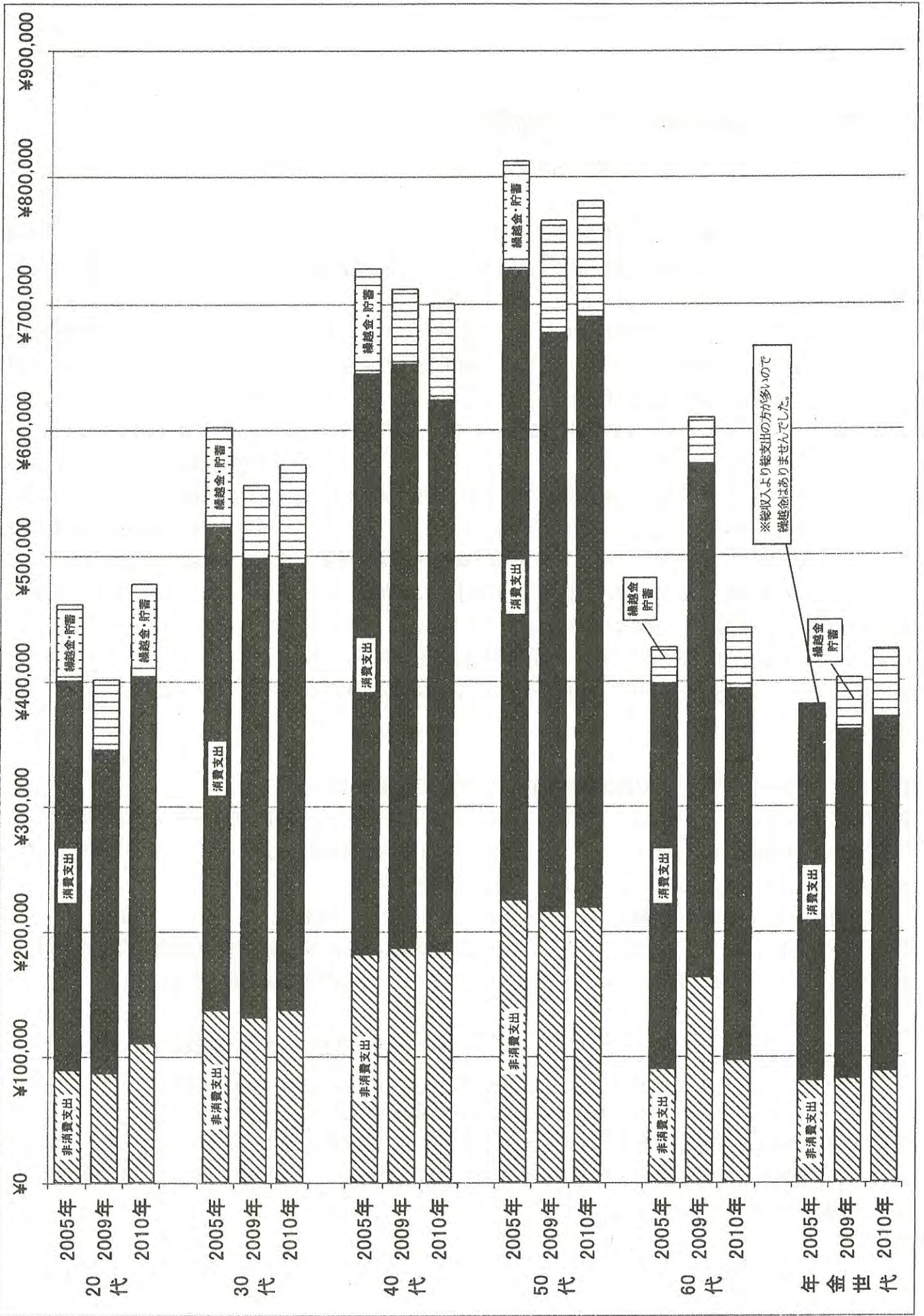
家計簿をつける目的は、わが家の収入と支出の実態を正しく把握し、計画的にお金を使うことで、家族1人1人の夢を最大限に実現できるようにするためです。

昨年の「自分の年間集計」を基に今年の計画を立てた方。また、「毎月の家計簿の集計」を見て、自分の家計の数値を比較している方もいることと思います。

家計簿の消費支出の費目には【食費】のように毎月ほぼ一定に支出するもの。【被服費】のように、年間の支出として予算化したほうがよいもの。【住居費】【教育費】のように世代により大きく変化していくもの。【医療費】のように、まさかの時の支出として備えるべきのものがあります。また、【私的保険】などは、月々の支出は小さく見えても生涯に支払う金額は大きくて、住宅に次ぐ大きな買い物になります。

家計管理は年間計画だけでなく、長い将来を見て「ライフプラン」をたてることが大切です。災害や景気の動向また家族構成の変化なども考慮して、「家計簿のまとめ」を将来の収入や支出を考える目安としていかしてください。

2005年・2009年・2010年の「収入」に対する「非消費支出」「消費支出」「収支（繰越金・貯蓄）」額 ※ 総平均から



## 〈家計簿・くらし調査研究会 活動報告〉

◇ 毎月定例会を開催し、「家計簿ニュース」を発行 ◇

2010年

- ◇ 1月 1/26 「家計簿つけ方説明会」開催。ユウホール
- 1/29 「家計簿つけ方説明会」開催。ハーモス相模大野
- ◇ 3月 「子ども手当て」アンケート実施。
- ◇ 4月~5月 「2009年家計簿のまとめ」作成。
- ◇ 6月 6/10 取材でリサイクル工場「南海工業」の見学。  
web提出の開始。
- ◇ 7月 7/17 ユーホールにて新モニター対象の「家計簿交流会」開催。
- ◇ 10月 10/15 NHKから“野菜高騰”で取材。18:00と19:00のニュースで放映される。  
10/28 “飛び出し定例会”で、新店「秦野曾屋店」見学。
- ◇ 11月 11/26 定例会の中でエコ棺の“ゆきげ”の学習会。  
お香典（交際費）のアンケート実施。
- ◇ 12月 12/21 朝日新聞に“野菜高値”の取材記事が掲載される。  
12/24 定例会の中で「宅配事業部」と“高齢者むけの弁当”について話し合い。

「子ども手当て」アンケート結果  
(回答総数 315名)

◇もらえる—20・30・40代  
20代(貯蓄100%)・30代(貯蓄66%、  
教育24%、生活10%)・40代(貯蓄47%、  
教育44%、生活9%)  
◇もらえない—50・60代以上  
\*所得制限なしのバラマキは良くない。  
保育所の増設や給食費補助・教材の配布などに使ったほうが良いとの意見が多く寄せられました。

2010年1月号~12月号までの家計簿ニュース「今月の話題」は.....

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1月 「戻ってきたお金、どこへ記入するの？」         | 7月 ペットボトル・ペットボトルのキャップはどうなるの？   |
| 2月 日本学生支援機構の奨学金制度              | 8月 「家計簿から我が家の家計の中身がよく見えてきました。」 |
| 3月 上手に家計簿をつけるには？               | 9月 〈家計・こ〜ぶ〉ってなあ〜に？             |
| 4月 皆で知ろう！くらしの中の規格              | 10月 『ジェネリック医薬品』にしてみようかな.....？  |
| 5月 グリーン家電エコポイント制度              | 11月 「家計簿・くらし調査研究会」の活動と集計票の流れ   |
| 6月 「子ども手当て」あなたはもらえる？<br>もらえない？ | 12月 ミアクチーナ秦野曾屋店を見てきました！        |

.....を取り上げ、記事を掲載しました。

2010年家計簿・くらし調査研究会メンバー

朝見 千陽・伊藤 さち子・生方 英子・小川 愛・梶川 三千枝・鈴木 泰子・土屋 康子・旗谷 利  
実子・原 登美子・平野 澄子・松田 千夏・森 麻紀・森本 ミエ・関山 万里子(担当職員)・遠藤  
陽子(職員スタッフ)